

河越館跡について

- ・指定名称 河越館跡
- ・指定種別 史跡
- ・指定年月日 昭和59年12月6日
- ・指定地域 川越市大字上戸192-1他
- ・指定面積 48,509.18㎡

河越氏は桓武平氏・秩父氏の流れをくみ、平安時代末から南北朝時代にかけて武蔵国でも有数の勢力を誇った武士です。このことは、河越重頼の娘が源義経の正妻になったことから窺い知れます。しかし、室町時代となった貞治6年(1367)に鎌倉公方足利基氏が死去すると関東を統治するために設置された政庁である鎌倉府と河越直重を中心とする平一揆との関係が悪化、応安元年(1368)、平一揆が河越館にたてこもって鎌倉府に反旗を翻しますが、敗北してしまいます(武蔵平一揆の乱)。これ以降、河越氏は、歴史の表舞台から姿を消してしまいます。河越館跡は、この河越氏の居館跡で中世武家政権を支えた武士の実態を解明する上で重要な遺跡として、昭和59年12月6日国指定史跡となりました。

史跡公園について

国指定史跡河越館跡史跡公園は、次の世代に伝えるべき貴重な史跡である河越館跡の保存を図るとともに、郷土学習の場、市民の憩いの場として有効な活用を目指し開園しました。史跡整備事業は3期に分けて実施される予定です。第1期史跡整備事業は平成19年度から21年度までの3カ年にわたり、整備面積は約13,300㎡を対象としました。

公園利用にあたってのお願い

- 1 公園内は禁煙です。
- 2 ゴミの持ち帰りにご協力ください。
- 3 ガスコンロ、たき火、花火等の火気の使用は禁止です。
- 4 ペットの散歩はマナーを守りましょう。
- 5 公園内への車両及び自転車の乗り入れはできません。
- 6 公園内には銃・刀剣類、野球用具類、ゴルフ用品、スケートボードなど、持ち込めない物品があります。
- 7 公園内での営業行為、宣伝行為は出来ません。
- 8 お客様の不注意による事故については責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 9 他のお客様のご迷惑となるような行為や史跡に影響を及ぼす行為はおやめください。

利用案内

- ◆開園時間◆
開園日 開園時間
4月1日～9月30日 9:00～18:00
10月1日～3月31日 9:00～17:00
- ◆休園日◆
年末年始(12月29日～1月3日)
都合により休園日を変更することがあります。
- ◆駐車場◆50台 大型バスの利用につきましては、下記お問い合わせ先までご相談ください。
- ◆交通案内◆
電車利用の場合
●東武東上線 霞ヶ関駅より徒歩約15分
車利用の場合
●関越自動車道川越ICより約30分
●圏央道鶴ヶ島JCTより約15分
●蔵造りの町並みより約15分



お問い合わせ

川越市教育委員会 文化財保護課
〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1
TEL 049-224-6097 (直通) ※月～金 8:30～17:00
Eメール bunkazai@city.kawagoe.saitama.jp

国指定史跡 河越館跡史跡公園

中世の河越館 想像図



イメージキャラクター
河越茶太郎

川越市教育委員会

中世の浪漫とお茶の薫る史跡



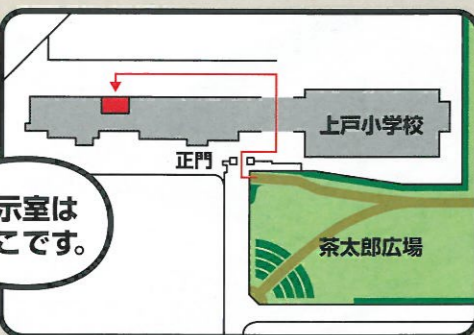
・史跡の広場 右の「施設案内図」のとおり河越氏時代の遺構を中心に復元した広場です。激動の中世を逞しく生き抜いた河越氏。しかし、平一揆の乱により歴史の表舞台から忽然とその姿を消し去ってしまう河越氏。中世浪漫をご堪能ください。

・茶太郎広場 中世の銘茶「河越茶」。そして、このお茶と深い関係があったと考えられる河越氏。このことから生まれた史跡公園のイメージキャラクター「河越茶太郎」。広場の名前は、元氣よく遊ぶ茶太郎の姿をイメージしてつけられました。広々とした芝生の中にある東屋とともに、憩いの空間としてご利用ください。また、さまざまな種類のお茶の木についてもお楽しみいただく「お茶の薫る」広場でもあります。

資料展示室



展示室は
ここです。



隣接する上戸小学校の一室では、河越館跡の発掘調査で発見された出土品の展示をしています。

日曜日
(10:00~15:00)
のみの開室になります。



茶の木



掘立柱建物跡



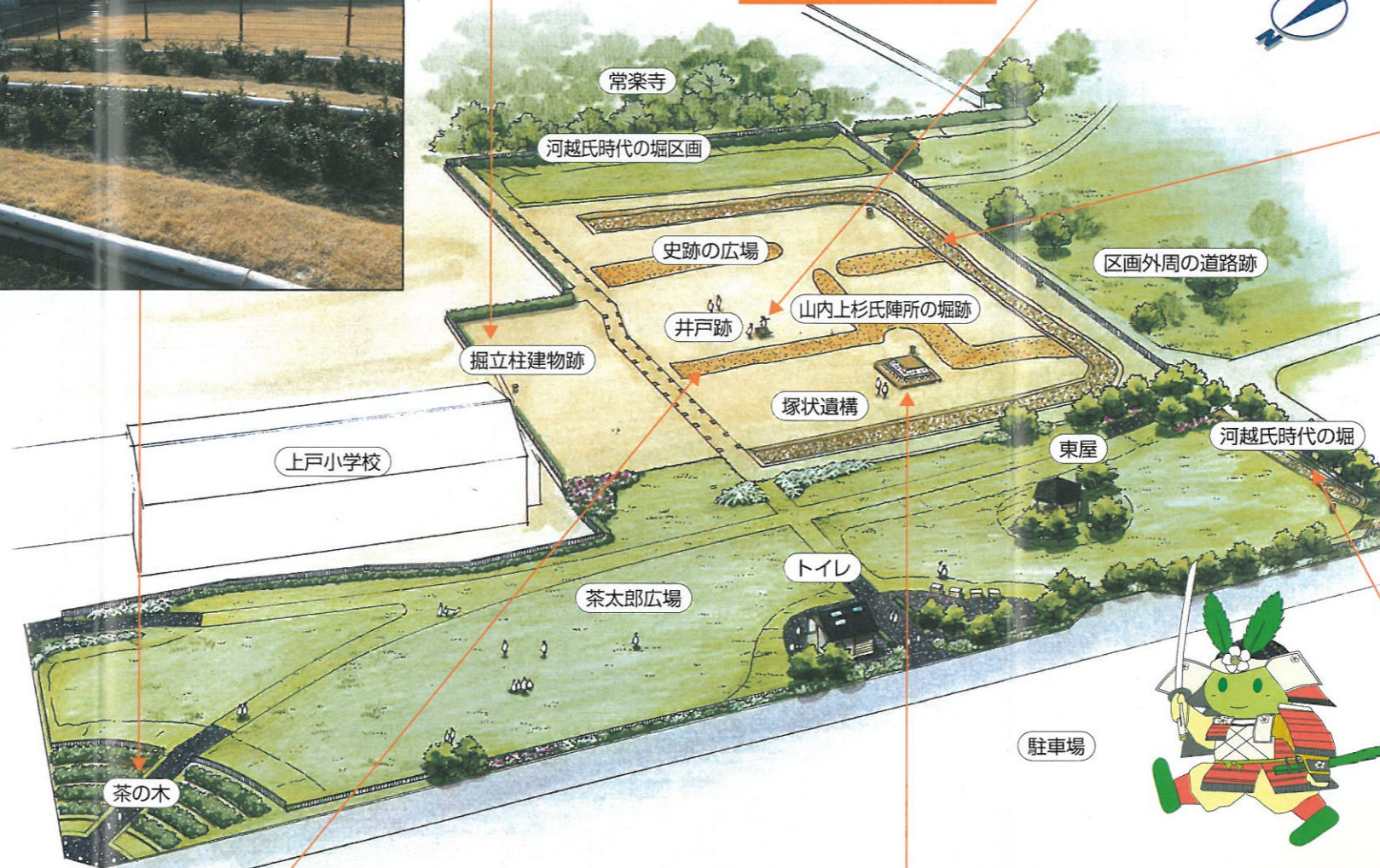
河越氏の屋敷地内にあった建物の一部を平面的に表示しました。この建物は柱で屋根と床を支える構造をしており、柱穴の基礎の部分に根石が入っていました。

井戸跡



河越氏の屋敷地内にあった井戸です。同時代の絵画資料をもとに井戸枠を再現しました。内部の板材を方形に組み上げた井戸側(水を汲み上げる部分)は、1.2m四方でした。

施設案内図



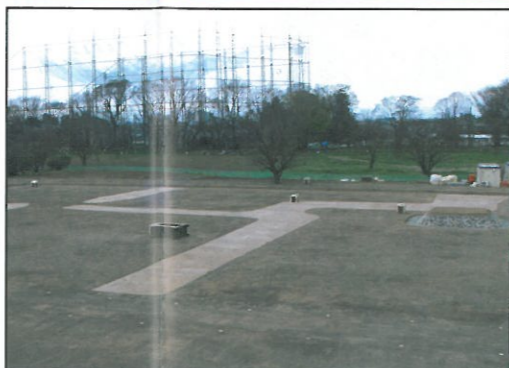
河越氏時代の堀区画

河越氏の屋敷地のまわりを囲んでいた堀です。幅約4m深さ約2mで南北約75m東西約100mの方形に巡っていました。河越館はこのような堀による方形の区画がいくつか並んで構成されていたようです。

河越氏時代の堀

河越氏時代の堀区画と同時代の堀で、別の区画の一部と考えられています。

山内上杉氏陣所の堀跡



河越氏がこの地から姿を消した後の戦国時代に山内上杉氏が陣所を構えた際の遺構です。

塚状遺構



河越氏の屋敷地内の霊廟あるいは納骨堂だったと考えられる遺構です。盛土の表面に石を葺き、周囲は溝で囲まれていました。

